

農業農村整備事業等再評価地区別資料

局 名	九州農政局
-----	-------

都道府県名	鹿児島県	関係市町村名	きまつぎくんきもつきちよう 肝属郡肝付町
事業名	農業競争力強化農地整備事業	地区名	だいさんにとみ 第三新富
事業主体名	鹿児島県	事業採択年度	平成 27 (2015) 年度
<p>〔事業内容〕 事業目的： 本地区は、肝付町の北西部に広がる肝属平野に位置し、明治末期に耕地整理を導入し 1 反区画で整備され、水稻、さといも、そば、飼料等を中心とした営農が行われているが、区画や道路幅員の狭小及び用排水路が未分離のため、営農に支障を来し生産性の向上を阻害している。 このため、本事業により区画整理と併せて農道、用排水路及び暗渠排水を整備することにより、営農労力の省力化を図ることで、担い手農家への農地集積及び水田の汎用化を促進し、本地域全体として農業競争力の強化を図るものである。</p> <p>受益面積： 68ha 主要工事計画： 区画整理 68ha 総事業費： 3,298 百万円（計画総事業費：3,081 百万円） 工期： 平成 27 (2015) 年度～令和 12 (2030) 年度 （計画工期：平成 27 (2015) 年度～令和 12 (2030) 年度） 関連事業： 県営かんがい排水事業中央地区</p>			
<p>〔項目〕 ア 事業の進捗状況 本地区は区画整理 68ha のうち 39ha が完了しており、令和 6 (2024) 年度までの進捗率は 57.3% (事業量ベース) である。残りの区画整理についても早期効果発現に向けて、整備を進めている。</p> <p>① 計画工期に対して著しい変更は認められないか 計画工期の著しい変更はなく、令和 12 (2030) 年度の完了に向けて計画的な事業実施に努める。</p> <p>② 地元負担等について、関係者間の合意形成が図られているか 地元負担について関係者との合意形成が図られている。</p> <p>イ 関連事業の進捗状況 本地区の関連事業は「県営かんがい排水事業中央地区」であり、昭和 56 (1981) 年度に完了している。</p> <p>① 「農業農村整備事業管理計画」等に即し、関連施策等との連携・調整が行われているか 農業農村整備事業管理計画に即し、適切に連携・調整が行われている。また、基盤整備関連経営体育成等促進計画に基づき、担い手への農地集積・集約化を推進している。</p>			

- ② 国営附帯地区については、国営事業との進捗調整が図られているか
該当なし。

ウ 農林水産業の情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化

- ① 受益面積の増又は減が10%未満であるか
計画変更（令和6（2024）年3月計画確定）以降、受益面積の変動は生じていない。
- ② 主要工事計画の著しい変更が認められないか
計画変更（令和6（2024）年3月計画確定）以降、主要工事計画の変更は生じていない。

エ 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化（費用対効果分析の結果を含む）

本地区は、農業効果の算定基礎となる地域農業振興の基本方針などの情勢変化を踏まえた計画変更を行っており、計画変更以降、費用対効果分析の基礎となる要因の変化は生じていない。

- ① 工法や事業量の変更に伴う事業費増分（労賃又は物価の変動によるものを除く。）が計画事業費の10%未満であるか
計画変更（令和6（2024）年3月計画確定）以降、工法や事業量の変更に伴う事業費増分（労賃又は物価の変動によるものを除く。）はない。
- ② 市町村等が策定する農業振興計画等との整合が図られているか
肝付町の農業振興地域整備計画と整合が図られている。
- ③ 費用対効果分析の結果
(B/C) 1.77（現計画時：1.70）

オ 事業コスト縮減等の可能性

本地区の工事に伴う建設発生土について、表土としての利用の可否について地権者等の確認を受けた上で農地へ還元するなど、処分場への搬出量を抑制することで、コスト縮減に努めている。

また、用水施設の管理設時の埋設深さについて浅埋設（1.2m→0.6m）とするなど、積極的にコスト縮減に努めている。

今後、実施予定の工事においても、積極的にコスト縮減に努めていく。

カ 地元（受益者、地方公共団体等）の意向

受益地では水稻を基幹とした栽培が行われている。畜産農家も多く、露地野菜との複合経営も盛んな地域である。

受益者、町及び土地改良区は、営農労力の省力化や安定した農業用水の確保による農業経営の安定及び生産性向上のため、本事業による区画整理の早期完了を要望している。

キ 代替案の実現可能性（上記の検討の結果、問題があると認められる場合に限る。）

該当なし。

ク その他

① 環境等の調和への配慮

本地区は希少生物である両生類の「アカハライモリ」が水路で確認されている。また、高山町農村環境計画において環境配慮区域に設定されている地域であり、当初計画から環境情報協議会等で事業実施による環境影響について議論を行ってきた。

その結果、事業の実施に当たって、アカハライモリをはじめとして水田周辺の生物や植物の生息などに配慮するため、這い上がり付き水路や底張無し構造の水路で整備していく等、生態系への環境配慮に努めていく。

また、生態系に影響を及ぼさないよう排ガス対策型や低騒音・低振動型の作業機械を使用してきたところであり、今後も周辺環境への配慮を継続していく。

② 計画変更

第1回計画変更（計画確定日） 令和6（2024）年3月25日

事業主体の 事業実施方針	継続する。
事業主体の 予算要求方針	令和8年度予算を要求する。
第三者 の意見	本地区では、現在までに区画整理は約6割が完了しており、整備された農地では集積が進み、一定の効果が発現している。 地元からは、営農の省力化や安定した農業用水の確保による農業経営の安定及び生産性の向上のため、本事業の早期完了が要望されている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境との調和に配慮しながら、区画整理を着実に推進することが望まれる。
補助金 交付の方針	予算を割り当てる。

農業競争力強化農地整備事業

「第三新富地区」 事業概要図 【No. 10】

県内位置図



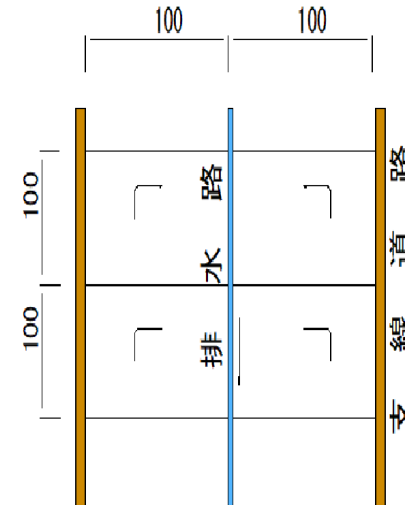
だいきんにいとみ

波見川

(事業概要)

受益面積	68ha
主要工事	区画整理 68ha

区画整理



凡例

	R6年度まで 区画整理
	R7年度以降 区画整理